

No.10	事業名	広域連携展示事業	担当課	生涯学習課
<p>【事業概要】</p> <p>「湘南広域都市行政協議会」の設置に伴い、二市一町広域連携の一環として、茅ヶ崎市美術館を利用して、共同作業による展示会を年1回、二市一町間の協定に基づき開催する。</p>				
<p>【目的】</p> <p>(1) 二市一町の広域連携事業拡大の一環として、各市町に関わる文化資産を広く公開し、相互の交流を図る。</p> <p>(2) 広域連携により事業を実施することで、相互の資源の有効活用による幅広い公開活用事業の展開を図ることができ、それにより市民への多様な公開を行う。</p>				
<p>【平成22年度実施内容】</p> <p>茅ヶ崎市美術館において「藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町収蔵作品展」（4月29日～6月13日）を開催した。</p> <p>内容は、二市一町の庁舎内等に保管されて日頃市民等の目に触れにくい作品を公開したもので、藤沢市からは絵画作品と古代文化資料を合わせて計18点、二市一町で合計57点を展示した。</p>				
<p>【効果・成果】</p> <p>36日間の展示開催で2,081人の入場者があり、広域の市民を対象に茅ヶ崎市美術館で開催することにより、コストの軽減を図ることができた。</p> <p>また、二市一町の連携により、美術担当学芸員から業務上の助言を得るなど、相互のノウハウを生かすことができた。</p>				
<p>【課題・問題点（内部評価）】</p> <p>(1) 継続のための財源確保が必要</p> <p>(2) 二市一町の共通テーマや関連する文化資産の掘り起こしが必要</p>				
<p>【課題解決の具体的方法】</p> <p>(1) (財) 神奈川県市町村振興協会助成金の活用を図る。</p> <p>(2) 平成23年度からは、市民団体による活動を主体とした広域文化活動部会事業に位置付けられることになったため、市民等も交えた協働により、事業の発展を図っていきたい。</p>				

■外部評価員からいただいた主なご意見

1. 事業が目的を実現するための内容となっているか

- 本事業の目的は、二市一町の広域連携事業拡大の一環として、各市町の所蔵する文化資産を広く公開し、相互の交流を図るものであり、茅ヶ崎市美術館を利用した共同作業による展示会開催は、その内容となっている。

2. 事業の効果・成果が適切なものか

- 来場者が2,000人余りということで、一定の効果はあったと思われる。

3. 課題・問題点の捉え方は適切か

- 湘南広域都市行政協議会が法定協議会となったことの記念事業とのことであるが、美術の展示について、継続的に「二市一町」という枠組みを継続する必要があるかどうかについて、検討する必要があるのではないか。

4. 課題解決の具体的方法は適切か

- 費用面でもう少し押さえて行える方法を検討すべき。

5. 総合的な感想（アドバイス）

- 湘南地域は、文化的な市民ニーズが高いと思われる。文化都市「藤沢」を大事にしてほしい。
- あまり公開されない文化遺産を、市民に公開してほしい。